

# 「ポリファーマシーの何が問題なのか？」

## — 多剤併用問題にみる老年医学の視点 —

近年、多剤服用・併用を意味するポリファーマシーという言葉が、よく聞かれるようになりました。「夢の治療法・特効薬」への人々の当然の注目の一方、「病院・医者が出す薬」に対する不信を煽る週刊紙記事なども後を絶たず、国民の健康情報の混乱は大きな問題になっています。他方、高齢者医療の場や、在宅療養の場面では、複数科受診に伴う多剤服用問題は、早くから自覚され、「お薬手帳」の活用や、かかりつけ薬剤師による「残薬」把握などが試みられてきました。多剤併用による副作用の増大のみならず、老年医学の視点からは、服用薬剤数と生命予後に明らかな負の相関関係があるといえます。このホットな焦点を、その第一人者から解説いただきます。多くの皆さんの、ご参加をお待ちしております。

講師

**秋下 雅弘** 東京大学医学部附属病院 老年病科 教授

日時

令和2年 **2月25日(火)**  
18:30~21:00 (受付18:00~)

会場

千葉市総合保健医療センター 5階 大会議室  
美浜区幸町1-3-9 (JR京葉線・モノレール 千葉みなと 徒歩5分)

対象

医療・介護・福祉関係者、一般市民 どなたでも参加できます！

参加費

無料

後援

千葉市・千葉市医師会・千葉市歯科医師会・千葉市薬剤師会  
千葉県訪看ST協会

協賛

美浜区・連携の会

申込先

下記の宛先に、メール または 当用紙をFAXして お申し込みください。  
お問い合わせはメールで。また、申込なく、当日直接参加いただくことも可能です。

FAX 043-253-8499 メール [sonno.clinic@kazenomura.jp](mailto:sonno.clinic@kazenomura.jp)

ご所属	
御名前	
連絡先	電話 ( ) - FAX( ) - メール @